

大島地区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成28年7月23日(土) 11時から12時30分
場所 川東高齢者福祉センター大島分館(旧大島公民館)1階和室
司会・進行 近藤連合自治会長
参加者数 男 33人 女 8人 合計 41人



質疑応答(要約)

1. 連合自治会共通の市政課題

市政課題名(「安心・安全のまちづくり」)

テーマ①校区防災訓練について

【宮西自治会長】

①校区防災訓練について

- (1) 大島校区は離島で非常に高齢化が進んでいるため、災害時には非常に厳しい状況になると予想される。通常の防災対策の訓練では、そぐわない場面も多々あると思われる。今後は大島校区の現状に見合った訓練を実施したいので、全国で同じよう条件を持つ地域の先進的な事例を紹介してほしい。
- (2) 防災非難用資機材の保管方法については、連合自治会での集中管理方式と単位自治会ごとの分散方式があると思われるが、大島校区の場合はどちらがベストなのか判断に迷っているので、アドバイスをお願いしたい。

- (3) 避難時における要支援者の対応については、地域の共助が前提になるが、大島校区では大多数の方が高齢者なので非常に厳しい環境条件となっている。何か対応策になるものがあれば教えて頂きたい。
- (4) 自主防災組織の編成については、連合自治会単位と単位自治会単位があると思われるが、大島校区のような規模の場合はどちらがベストなのか判断に迷っているので、アドバイスをお願いしたい。

回答【市民部長】

①校区防災訓練について

- (1) 防災訓練についてですが、昨年実施していただいた訓練内容は、反復して行うことが非常に大切です。全国的にも同様の訓練を実施しているようです。昨年行った訓練以外には、平常時からできる防災対策について、プロジェクター等を使用して、市職員による講話等や火災に関する訓練等もあります。また、海上保安署のご協力による船舶による避難訓練等があります。なお、海上保安署の船舶による避難訓練については、実施日の2か月前までに打合せいただきたいとのことですので、計画時に防災安全課までご相談ください。
- (2) 資機材の保管方法についてですが、連合自治会で集中管理し、置く場所を必要に応じて分散する方法が良いと思います。理由につきましては、単位自治会で個々に管理すると、役員等が交代した場合、引継がうまくいかず資機材の所在がわからなくなり、連合自治会でもわからなくなるケースがあるためです。
- (3) 校区の高齢化は、大島校区だけに限らず深刻な問題であると認識いたしております。自力で避難所まで移動できる方、介助が必要とする方、それらを的確に把握して平時から確認しておくことが大切です。大島校区では、現在9名の方が、災害時要援護者リストに登録されています。支援するほうも、要援護者1人に対して1人でなく、ご近所の方等、健常者の方数人でサポートする体制が望ましいと考えております。共助の立場で皆様のご協力お願いいたします。
- (4) 他の校区では、小さな単位自治会3～4単位で一つのブロックをつくり、ブロック単位の自主防災組織を編成している校区があります。大島校区におきましても、ブロック単位の編成を検討してみたいかがでしょうか。大島校区の場合、地理的条件や自治会の人員構成等を考慮し、場合によっては、連合自治会単位の編成も選択肢の一つだと思います。

②救急医療体制の現状について

消防本部から説明

質疑無し

2. 過去の主要な地域課題の状況報告

課題名（(H26) 市道 272 大島支線の東海岸線の改修事業等について）

調査結果を踏まえた、改修工事の実施見通しの説明をお願いします。

【建設部長】

周回道路の安全対策につきましては、平成 26 年度に現況調査を実施し、平成 27 年度には調査結果を基に整備計画の策定を行い、今年度から順次対策工事に着手いたします。

具体的には、今年度は 5 箇所で路側擁壁の改修を予定しており、ご要望の東海岸につきましては、平成 29 年度から 31 年度までの 3 カ年でロックネットを施工する予定です。

課題名（(H27) 土砂災害防止対策について）

平成 27 年度に急傾斜地崩壊対策事業を前提とした調査結果と今後の対応について説明をお願いします。

【建設部長】

平成 27 年度に要望のあった当箇所について、東予地方局河川港湾課に問い合わせたところ、「昨年度に実施した、概略調査の結果、急傾斜地崩壊対策事業により、工事を要する箇所と認められることから、平成 29 年度から設計などの事業着手に向けて、国に要望することとしている」という回答がありました。

なお、急傾斜地崩壊対策事業については、昨年度もご説明したとおり、工事に必要な用地の県への寄付、関係土地の境界確定、急傾斜地崩壊対策区域指定への同意など、工事施工において必要な条件の整備については、関係者及び自治会が主となって進めていただくようお願いしておりますので、ご協力をお願いいたします。

いずれにいたしましても、急傾斜の対策工事は事業が着手しても完成まで長期間を有することから、当面は気象状況に注意し、危険と思われる場合は早めの避難をお願いたします。

3. その他

【地元要望①】

市道 272 大島支線の西側鉄塔付近において、土砂で轍ができて自転車等が通行できない状況となっている。消防車両等の緊急時の出動にも支障になりかねないので、早急に土砂を撤去してほしい。

【建設部長】

本日、現地視察し、土砂が堆積しているのを確認しています。近々工事に入る予定なので早々に土砂除けをについて対応します。

【地元要望②】

明神谷川上流の水源地に大量の土砂が堆積し、大きな樹木が生えているので、それらの除去をお願いします。

吉祥寺から西之町までの区間ほか1箇所において、過去に土砂災害防止対策で設置されたフェンスの中にある雑木林の樹木が大きくなって民家にかかっている箇所があり、台風等の強風時に民家を傷めて被害が出ないかという懸念があるので、伐採をお願いしたい。

【建設部長】

土砂災害防止対策で設置されたフェンスの中にある雑木林の伐採については、県の所管になると思われるので、要望内容を伝えておきます。

【地元要望③】

市道 272 大島支線で路面が傷んでいる箇所の補修をお願いしたい。

【建設部長】

傷んでいる箇所については、今後の工事の中で手を入れて対処します。

【地元要望④】

市道 272 大島支線でガードパイプが有る箇所と無い箇所があるが、何か理由があるのでしょうか。

【建設部長】

危険な個所に設置するが、十分な対応には至っていません。

【市長から大島の皆さんへの問いかけ】

大島の皆さんとしては、サイクリングロードを整備して多くの人を呼び込みたいのか、または、サイクリングロードの整備を望まずに静かに暮らしたいのか、今後意見を聞かせて頂きたいと思います。